

第2学年「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

	各教科の課題	具体的な授業改善策	チェック
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○聞く・話す力の向上 ○書く力の向上 ○読む力の向上 ○漢字・語彙力の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○常時活動として日直のスピーチなどを取り入れ、授業以外の場でも、意図的に聞く・話す場を設定する。 ○話し手を見て、手遊びなどはしないで集中して話を聞くように粘り強く働きかける。 ○話の内容を整理して、相手の反応を見ながら、声の大きさや話す速さに気を付けて話すように指導する。 ○順序を意識して作文を書けるように、構成メモを利用したり、接続詞を意識させたりする。 ○自分が書いた作文を推敲する習慣をつける。また、友達同士で読み合う時間を設定する。 ○音読カードを活用し、繰り返し音読に取り組ませる。 ○週に1回以上、読み聞かせや図書の時間を設定し、読書の楽しさを実感させる。 ○漢字やひらがな、かたかなの読み書きについて、家庭とも連携を図りながら、繰り返し取り組ませる。 ○促音や拗音、長音の読み書きが確実に身に付くよう、視覚化や動作化を取り入れた指導を行う。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○論理的に考える力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着を重視した授業を組み立てる。 ○少人数指導を通して、個に応じた指導を行う。特に、基礎的・基本的な内容については、確実に身に付けることができるよう、少人数指導担当と連携を図りながら、個別支援を行う。 ○家庭と連携を図りながら、繰り返し計算練習に取り組ませ、定着を確実にする。 ○具体物を操作しながら、自分の考えを言葉や図を使ってまとめる時間を確保したり、少人数での話し合いの場を設定したりして、考える時間や考えを発表する場の充実を図る。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○「生活」への関心・意欲・態度の育成 ○活動や体験について思考し表現する力の育成 ○生活上必要な習慣や技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○町探検や自然観察など、身近な地域を知る活動を取り入れていく。 ○児童が自ら植物に関わり、その成長の様子を詳しく調べるための栽培を継続的に行う。 ○町探検や自然観察では「記録カード」を活用し、発見や疑問を記録させ、その後の活動に活かす。 ○町探検を通して、自分たちの生活は様々な人たちに支えられていることに気付かせていく。また、野菜の栽培を通して、植物の種類に合わせた世話の仕方があることに気付かせる。 ○活動に必要な用具の安全な使い方を教えるとともに、実践を通して、片付けや整理整頓の習慣を付けさせる。 ○学習を通して、様々な体験ができるように配慮した指導計画を立てる。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽への関心・意欲・態度の育成 ○音楽表現の技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・リクエスト曲の選曲を当番制にしたり、一人や少人数で歌う場面を増やしたりするなど、児童の活躍の場を多く設定する。 ・児童の実態に合った、演奏する楽しさや満足感が得られるような選曲を工夫する。 ○練習方法を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声法や基礎的な奏法を繰り返し指導する。 ・上手な人の真似をしながら練習する活動を大切にする。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○図工に対する、興味・関心の育成 ○表現方法の向上 ○観賞能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな素材に触れ合う時間の充実を図り、その時の気持ちや感覚を大切に活動意欲を高められるようにする。 ○指先やはさみなどの道具を使う題材を工夫して、簡単な道具を使う経験の充実を図る。 ○友だちの作品などから、面白さや楽しさを感じ取らせる。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動技能の向上 ○運動への関心・意欲・態度の育成 ○運動についての思考・判断 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育講師や健康トレーナーと連携し、コーディネーショントレーニングを積極的に取り入れ、基礎的・基本的な運動感覚を養う。 ○体育講師の活用により、運動する機会の充実を図る。 ○運動の楽しさや喜びを味わうことができるような教具・教材の工夫をする。 ○運動量確保のためのルールを工夫する。 ○個人の課題に向かって挑戦する時間やそれに対する振り返りの時間を確保する。 ○分かりやすい掲示物や言葉かけを工夫することで、児童自らがルールを工夫し、守り、楽しみながら安全に運動することができるようにする。 	